

電気設備特記仕様書

I 工事概要

1. 工事場所

下関市豊前田町 地内

2. 建物概要

No.	建物名	構造	階数	棟数	延面積 (㎡)	消防別表	工事区分
1	高層棟	SRC	10	1	15434.21	(16)イ	・新営・全館無人改修 ○軌路並行改修
2							・新営・全館無人改修・軌路並行改修
3							・新営・全館無人改修・軌路並行改修
4							・新営・全館無人改修・軌路並行改修
5							・新営・全館無人改修・軌路並行改修

3. 工事種目

(○印のついたものを適用し、各一式とする。)

工事種目	建物名称					工事種目	建物名称				
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
構内配電線路設備	・	・	・	・	・	構内交換設備	・	・	・	・	・
受変電設備	・	・	・	・	・	情報表示設備	・	・	・	・	・
電灯設備	○	・	・	・	・	映像・音響設備	・	・	・	・	・
動力設備	・	・	・	・	・	拡声設備	・	・	・	・	・
電熱設備	・	・	・	・	・	誘導・管理設備	・	・	・	・	・
発電設備	・	・	・	・	・	テレビ共同受信設備	・	・	・	・	・
電力貯蔵設備	・	・	・	・	・	監視カメラ設備	・	・	・	・	・
雷保護設備	・	・	・	・	・	火災報知設備	・	・	・	・	・
構内通信線路設備	・	・	・	・	・	中央監視制御設備	・	・	・	・	・
構内情報通信網設備	・	・	・	・	・	テレビ電波障害防除設備	・	・	・	・	・

II 工事仕様

1. 共通仕様

図面および特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」(以下「標準仕様書」という)及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事)令和4年版」(以下「改修標準仕様書」という)、「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)令和4年版」(以下「標準図」という)、「JIL公共施設用照明器具(2025年版)」、「山口県電気設備工事施工監理要領(建築指導課作成)(以下「施工監理要領」という)」による。
URL参照：施工監理要領 (https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18800/eizen/eizen_youshiki.html)

2. 特記事項の適用方法

(1) 種目(設備)は○印がついたものを適用する。

(2) 特記事項は○印のついたものを適用する。・印は適用しない。
○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。

種目	項目	特記事項												
一般共通事項	耐震性能	設計用標準水平震度(Ks) <table><tr><td></td><td>1階・地階</td><td>中間階</td><td>上層階等</td></tr><tr><td>○ 特定の施設</td><td>1.0(1.0)</td><td>1.5(1.5)</td><td>2.0(2.0)</td></tr><tr><td>・ 一般の施設</td><td>0.6(1.0)</td><td>1.0(1.5)</td><td>1.5(2.0)</td></tr></table> ()内は防震支持の場合に適用		1階・地階	中間階	上層階等	○ 特定の施設	1.0(1.0)	1.5(1.5)	2.0(2.0)	・ 一般の施設	0.6(1.0)	1.0(1.5)	1.5(2.0)
		1階・地階	中間階	上層階等										
	○ 特定の施設	1.0(1.0)	1.5(1.5)	2.0(2.0)										
	・ 一般の施設	0.6(1.0)	1.0(1.5)	1.5(2.0)										
	耐荷重及び耐外力	建築基準法に基づき定められた区分等 風速(m/s) ※ 34 地表面粗度区分 (○ II ※ III) 垂直積雪量 ※ 0.3m ()m												
	施工調査	※ 施工に先立ち改修工事関連部分の事前確認を行い、監督職員に報告する。 ※ 改修工事関連部分のアスベスト含有建材は事前調査を行い監督職員に報告する。 ・ 工事発注時アスベスト含有建材の有無 (※ 有 (・レベル1 ・レベル2 ※レベル3) ・無) ※ 撤去する照明器具がある場合は、PCBの有無を確認し、監督職員に報告する。 ・ 撤去する変圧器等の微量PCB分析を行う。(分析費用 ※ 本工事 ・別途)												
	発生材の処理等(1.3.9)	発生材の処理にあたっては、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設副産物適正処理推進要綱」、「建設廃棄物処理指針」、「入札条件及び指示事項」その他関係法令等に従い適切な処理を行う。												
舗装切断及び穿孔	切断及び穿孔作業時に発生する排水を回収し、産業廃棄物として適正に処理すること。 回収した排水を現場から搬出する場合は、搬出時点での排水のpHを測定し、その結果を写真等に記録すること。この際、pHが12.5以上の場合は特別管理廃棄物として処理すること。 pHの測定方法 (※ 携帯式簡易測定器 ・) 監督職員ヘマニフェストと共にpHの測定結果の提示を行うこと。													
建設発生土の処理 環境負荷	※ 場内指示の場所に敷き均し ・ 場外搬出処分 (※ 公共残土処分場 ・ 任意処分) 山口県グリーン購入の推進方針及びグリーン購入ガイド(最新版)に基づき材料の調達を行う。 (以下「グリーン購入による」という)													
環境への配慮(1.4.1)	化学物質を放散させる建築材料等 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。 塗料は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。													
着工時の提出図書	工事請負契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。 ※ 工事用製本図面(工事用A2版) (0) 部 (A3版) (3) 部													

設計者(建築設備士)
勤務先()氏名()登録番号()
機械設備設計に関し意見を聞いた建築設備士
勤務先()氏名()登録番号()

年度7
山口県国際総合センター

工事名
山口県国際総合センター国際会議場照明器具改修工事
級建築士登録 第 号

電気設備特記仕様書
設計変更 回

10 — 1

一般共通事項

施工計画書等(1.2.2)

総合図
電気主任技術者
電気保安技術者(1.3.2)
工事写真・完成写真

完成時の提出図書(1.7.1)

施工図

その他工事との取り扱い

※ 工事の着手に先立ち、総合施工計画書を作成し監督職員に提出する。
※ 監督職員の指示する工種別の施工計画書を作成し、監督職員に提出する。
※ 品質計画については施工計画書に必ず記載すること。
総合図の作成 ※要 ○不要
○発注者で選任する。(経産省への届出資料作成等は本工事に含む) ※不要
※ 電気工作物にかかる工事においては、電気保安技術者をおく。
下記のことを監督職員に提出する。

分類・規格	撮影場所	部数	備考
※ カラー	※ サービス版相当	適宜	1部
電子データ共			

※ 電子データの提出方法については「工事完成図書」の電子納品要領」及び「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。
工事写真の撮影及び整理方法は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック電気設備工事編」「営繕工事写真撮影要領(最新版)」及び「デジタル工事写真の小黑板情報電子化基準」による。
※ 完成図書は、A4版黒表紙で次の部数提出する。
・ 学校工事 1部 ○その他工事 2部 (・自然保護課関係工事 3部)
詳細は、施工監理要領によるほか監督職員の指示による。
※ 竣工図(修正した設計図の二つ折り製本図面)を次の部数提出する。
・ 学校工事 2部 ○その他工事 2部 (・自然保護課関係工事 4部)
詳細は入札条件及び指示事項書による。
※ 竣工図のCADデータをメディア等で1部提出する。
施工図の二つ折り製本 (○要(部)・不要)
施工図のCADデータ (○要・不要)
なお、施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
イ) 図面特記のない場合、下表による。
ロ) 他工事との取り扱い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

他工事との取り扱い	建築	電気	機械
鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備(埋込盤、ブルボックス、ダクト、配管等)の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ	開口部補強	※	・
	電気のスリーブ等	・	※
	機械のスリーブ等	・	※
埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び下地補強	切込み及び補強	※	○
	電気墨出し	・	※
	機械墨出し	・	※
電気室、自家発電機室などの基礎及びビット(ふた含)	基礎及びビット	※	・
	電気墨出し	・	※
天井点検口		※	・
軽量鉄骨壁のボックス取付下地		・	※
機器類の吊りボルト用インサート	電気設備	・	※
	機械設備	・	※
機器類の取付け用アンカーボルト	電気設備	・	※
	機械設備	・	※
コンクリート基礎(外灯設備)		・	※
コンクリート基礎(機械設備機器類)	屋上設置	※	・
	屋内設置	・	・
	屋外設置	・	・
オイルサービスタンク防油堤		※	・
自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアチェック、フロアヒンジ		※	・
OAフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		※	・
OAフロア・フリーアクセスフロア仕上げ材の切込み及び補強		・	※
外壁取付けガラリ		※	・
換気扇枠、アルミパネル開口(ストッパー取付を含む)		※	・
建築工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側(電源)	・	※
	2次側(盤含む)	※	・
機械設備工事に含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側(電源)	・	※
	2次側(盤含む)	・	※
機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続		・	※
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管		・	※
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線		・	※
エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付		・	※
エアコンの室内、室外ユニット間の渡り配線(アースとも)		・	※
換気機器用スイッチ本体(空調換気扇用、24時間換気用を除く)		・	※
換気機器用スイッチの配管・配線及びスイッチ取付		・	※
機械設備工事に含む遮断装置の操作器及び感知器の配管・配線		・	※
機械設備工事に含む電極の配管・配線		・	※
擬音装置の埋込ボックス		・	※
電気開閉式大便器用洗浄弁の一次側電源の配管、配線		・	※
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ間の配管		・	※
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ間の配線		・	※
ガス給湯器等のアース配線		・	※
屋内、屋外雨水管		※	・

※ 下記の作業等においては作業主任者として技能講習修了者を選任する。(安衛則)
・ 足場の組立作業(565条) ・ 地山の掘削作業(359条) ・ 土止めの支保工作業(374条)
※ 下記の作業等においては作業指揮者を指名すること。(安衛規)
・ 高所作業車(194条) ・ 停電作業(350条) ・ 危険物の取扱作業(257条)
※ 車両制限令第3条における一般的制限値を越える車両を通行させるときは、事前に道路法第47条の2に基づく通行許可証の写しを監督職員に提出すること。

仮設工事

工事表示板

仮設物
監督員事務所
工事用電力
工事用水
工事仮設

共通工事

・ 構内線路
○ 電灯設備
・ 発電設備

3. 機器取付高さ
機器取付高さは、下記を原則とする。

名称	測点	取付高mm	名称	測点	取付高mm
取引用計器 引込開閉器 分電盤(住宅用を除く) ブラケット(洗面器) ブラケット(階段踊場) スイッチ(一般) スイッチ(多目的便所) コンセント(一般) コンセント(台上) コンセント(土間) 手元開閉器	地上～中心	1,800～2,200	受信機副受信機(壁掛)	床上～中心	1,200
	床上～中心	1,500	分布型感知器	床上～中心	1,700
	床上～中心	1,500	発信機	床上～中心	1,500
	鏡上	150	消火栓表示灯	床上～中心	1,900
	2,000～2,500	ベル	床上～中心	2,300	
	1,300	感知器(差動殊「外型」試験器	床上～中心	1,500	
	1,100	呼出ブザー	天井下～中心	300	
	300	押ボタン(屋外)	床上～中心	1,500	
	200	押ボタン(屋内)	床上～中心	1,300	
	800	呼出ボタン(多目的便所)	床上～中心	500	
1,500	復帰ボタン(多目的便所)	床上～中心	1,800		
1,500	インターホン(壁掛)	床上～中心	1,400		
2,000～2,500	壁掛型観時計	床上～中心	1,500		
700	予時計	天井下～中心	400		
2,000	時報ブザー	天井下～中心	300		
	壁付音量調節器	床上～中心	1,300		
	壁用スピーカー	天井下～中心	400		
	表示器		400		

○ 工事表示板は下図による。
建退共加入証、建設業の許可票、施工体系図、労災保険関係成立票、並びに石綿調査結果を見やすい箇所に掲げる。

※ 工事用材料置場、作業小屋、倉庫、仮事務所等の仮設物は、あらかじめ仮設工事計画書を作成し、監督職員と協議のこと。
※ 別途工事 (m程度) ・ 備品など ()
構内既存の施設 ○利用できる(※有償 ○無償) ※利用できない
構内既存の施設 ○利用できる(※有償 ○無償) ※利用できない
仮設電話 ・ 要 ※ 不要 仮囲い・さく等 ・ 要 ※不要

※ A種、B種、C種は、銅板 900° t=1.5 とし、D種は、連結式接地棒とする。
・ 既設利用(種類:C種 ・ 測定要)
※ 90mm×140mm×1mm以上の(※黄銅板・SUS板)で指定文字を刻印で表示
※ 標準仕様書 第1編第2章第9節(表2.9.1)による。
・ 下記場所の露出金属製電線管は、指定色塗装とする。
・ 居室 ・ 倉庫等 ・ 機械室等 ・ EPS、DS
※ P F管の使用は原則として(16)及び(22)とする。
※ 樹脂製 ・ ステンレス製 ・ 新金属製
※ 器具を実装しないものについては用途を明示する。
※ 標準仕様書による。(監督職員に書面による報告を行うこと。)
※ 標準仕様書及び改修標準書による。(監督職員に出来形管理図による報告を行うこと。)
※ 接着系あと施工アンカーを施工する場合は、以下の資格者が施工すること。
第1種あと施工アンカー施工士
第2種あと施工アンカー施工士(直径12mm以下のみ)
なお、接着系あと施工アンカーの施工後確認試験は、引張試験機による引張試験を行うこと。

※ 地中線路の場合マンホール、ハンドホール内で余長を見込む。(端部)
※ 管の上端10cm程度までは、真砂土または砂で敷き固める。
※ 高圧、低圧、通信の各線路ごとに埋設シート(2倍長)を敷設する。ただし、ハンドホールを共用するルートは優先度の高いものに統一できる。
※ 埋設管路のルートには、ハンドホール近辺に鋳鉄製埋設柱等で、方向、種別を標示する。
※ 要

※ 引掛けシーリング、埋込ローゼットの裏ボックスは金属製とする。(耐荷重性)
※ 区画壁に設置するボックスは金属製とする。
※ 外壁に打ち込むボックスは結露防止型とする。
○測定する場所：海峡ホール

・ 3相3線式 V KVAクラス
※ キュービクル型(騒音 dB) ・ 開放型
※ 軽油 ・ A重油
・ 鋼板製 ・ SUS製 容量: L
・ 本工事 ・ 別途工事 容量: L
※ 要
※ 製造者標準品一式
公称電力 kW

設計者(建築設備士)
勤務先()氏名()登録番号()
機械設備設計に関し意見を聞いた建築設備士
勤務先()氏名()登録番号()

年度7
山口県国際総合センター

工事名
山口県国際総合センター国際会議場照明器具改修工事
級建築士登録 第 号

電気設備特記仕様書
設計変更 回

10 — 1

設計者(建築設備士)
勤務先()氏名()登録番号()
機械設備設計に関し意見を聞いた建築設備士
勤務先()氏名()登録番号()

年度7
山口県国際総合センター

工事名
山口県国際総合センター国際会議場照明器具改修工事
級建築士登録 第 号

電気設備特記仕様書
設計変更 回

10 — 1

設計者(建築設備士)
勤務先()氏名()登録番号()
機械設備設計に関し意見を聞いた建築設備士
勤務先()氏名()登録番号()

年度7
山口県国際総合センター

工事名
山口県国際総合センター国際会議場照明器具改修工事
級建築士登録 第 号

電気設備特記仕様書
設計変更 回

10 — 1

電 氣 設 備 機 材 等 指 定 表

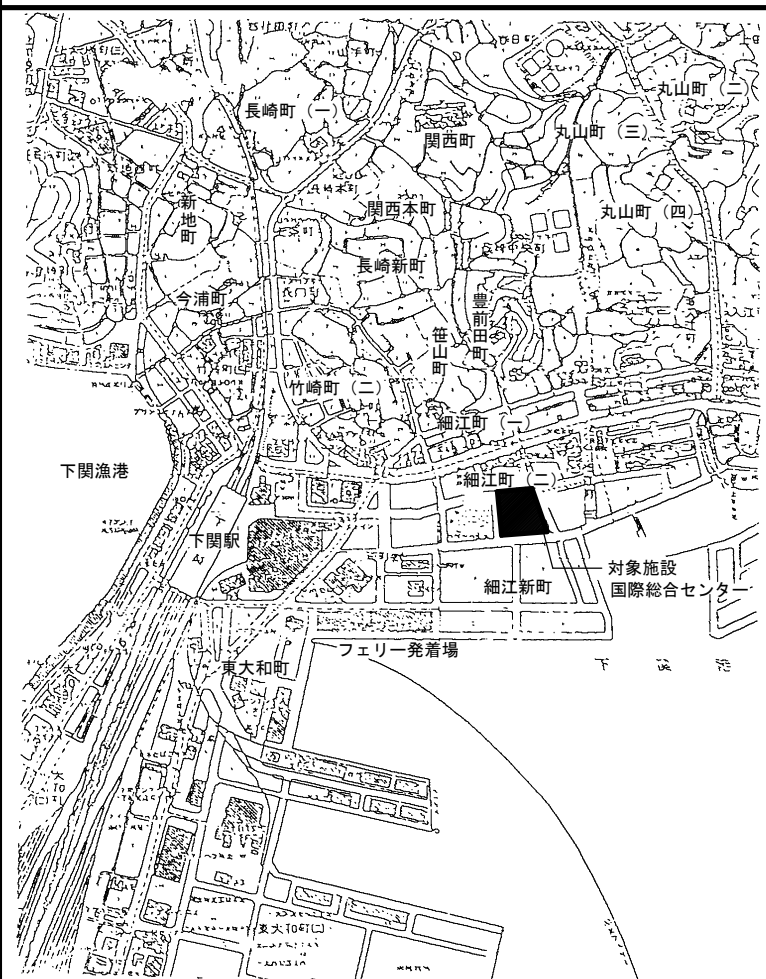
品目	機材名	適用範囲	製造業者等名
LED照明器具 (一般屋内用)			一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和6年版による。
高圧機器	高圧交流遮断器 高圧進相コンデンサ 高圧限流ヒューズ 高圧負荷開閉器 高圧変圧器(特定機器)		一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和6年版による。
蓄電池	据置鉛蓄電池 据置ニッケル・カドミウムアルカリ 蓄電池 シール形ニッケル・カドミウムアルカリ 蓄電池		一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和6年版による。
交流 無停電電源装置	無停電電源装置	容量300KVA以下 (蓄電池を除く)	一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和6年版による。

品 目	機 材 名	適 用 範 囲	製 造 業 者 等 名
盤 類	高低圧受配電盤	同じ場所に高圧盤を設置する場合 (キュービクル型を含む)	一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和6年版による。 記載されている県内業者は 株式会社オカダ電気 光和電業株式会社 摂陽明正株式会社山口工場 上記のほか下記による ㈲アイテックス 新光電業株式会社 大楽電機株式会社 東光電機株式会社 株式会社西日本テクノ
盤 類	低圧配分電盤 制御盤	高圧盤を設置しない場合	一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和6年版による。 記載されている県内業者は 株式会社オカダ電気 光和電業株式会社 摂陽明正株式会社山口工場 上記のほか下記による ㈲アイテックス 新光電業株式会社 誠和工機株式会社 大楽電機株式会社 株式会社中国電機サービス社 東光電機株式会社 株式会社西日本テクノ
盤 類	分電盤 操作盤(空調を除く) 端子盤		一般社団法人 公共建築協会 発行の、建築材料・設備機材等 品質性能評価事業 設備機材等 評価名簿（電気設備機材・機械 設備機材）令和6年版による。 記載されている県内業者は 株式会社オカダ電気 光和電業株式会社 摂陽明正株式会社山口工場 上記のほか下記による ㈲アイテックス 新光電業株式会社 誠和工機株式会社 大楽電機株式会社 株式会社中国電機サービス社 東光電機株式会社 株式会社西日本テクノ

[illegible]

	年度 7	工事名 山口県国際総合センター国際会議場照明器具改修工事	電気設備機材等指定表	10 — 2
	山口県国際総合センター	級建築士登録 第 号	設計変更 回	—

付近見取図



工程表 (工期 150日)

項 目	1	2	3	4			備考
準備期間	(30日)						
製作・材料調達		(100日)					
配線工事							
撤去工事							
設置工事							
試験調整				(10日)			
後片付け				(20日)			

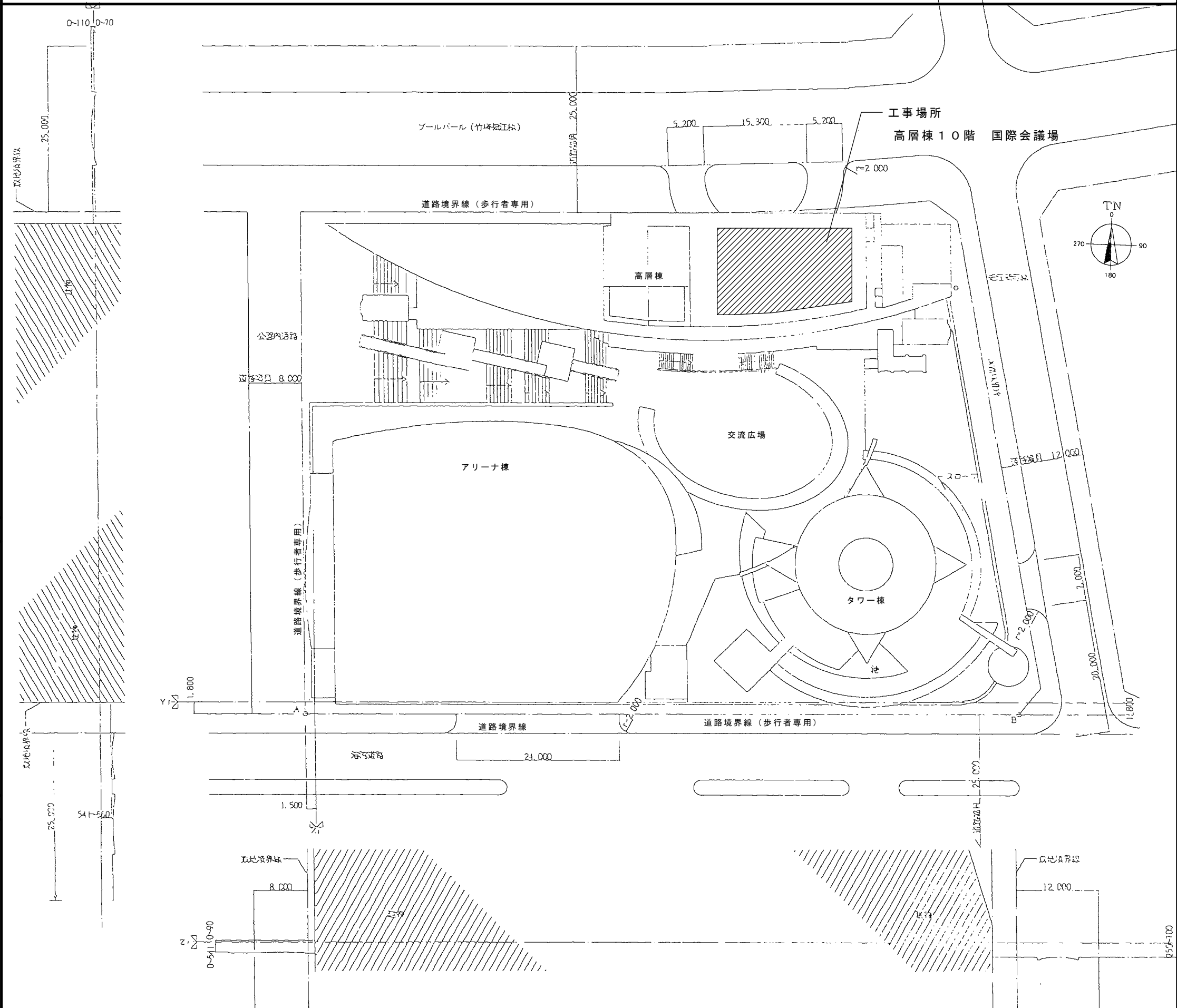
※令和8年3月工期末までに完成検査を実施すること。

特記事項

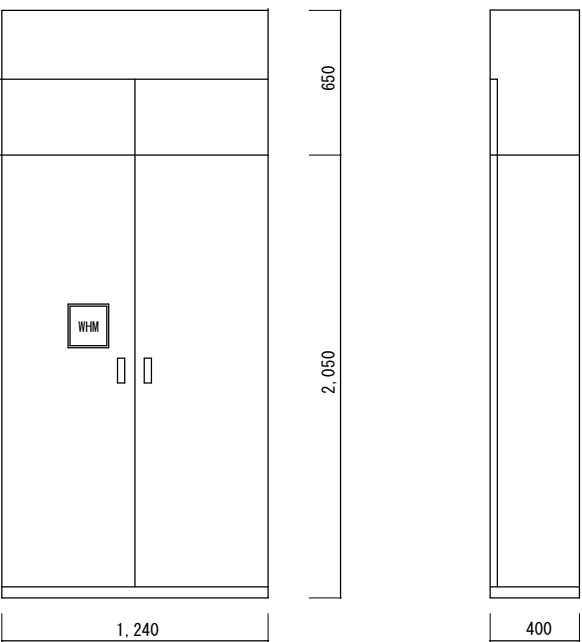
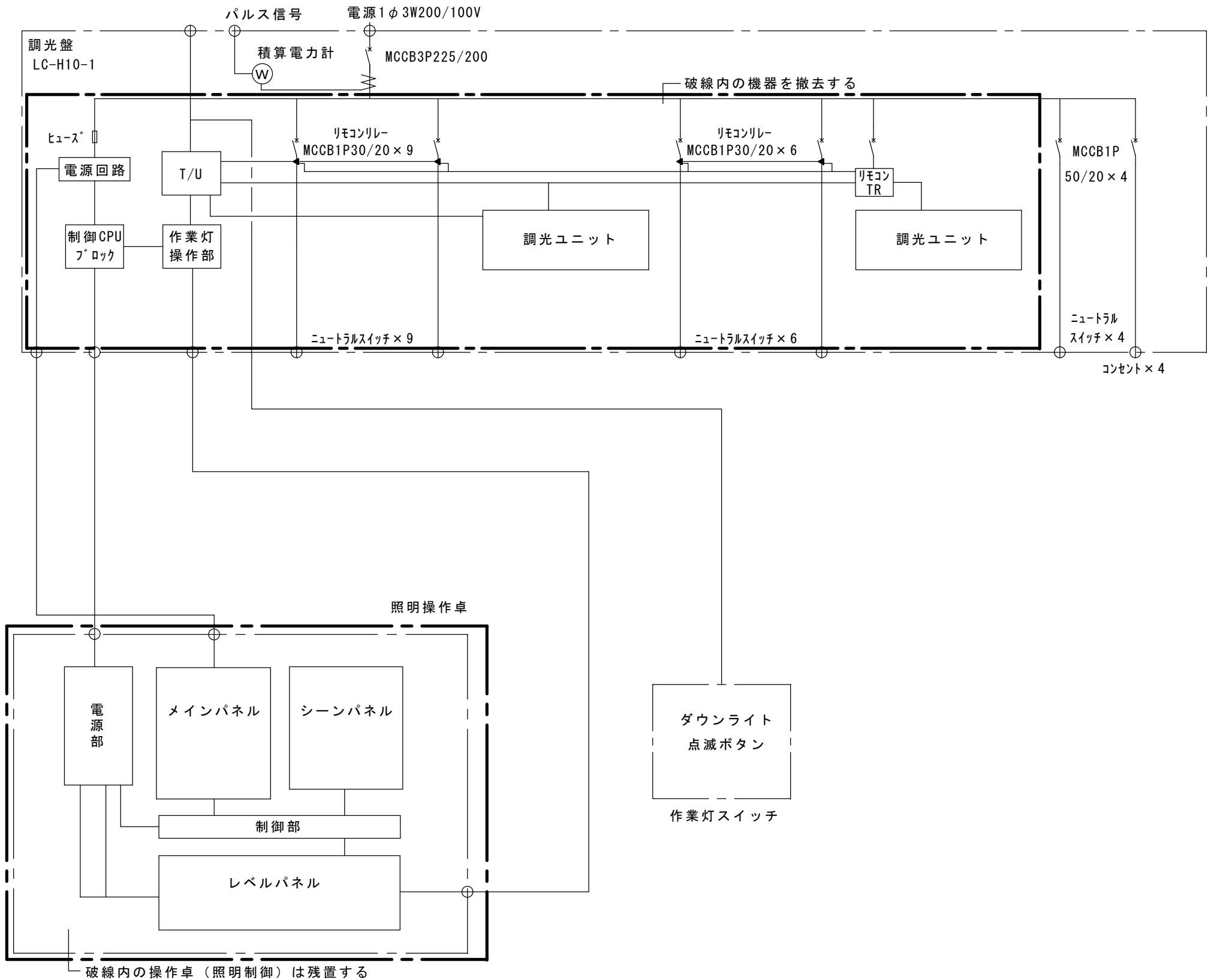
本工事はアスベスト事前調査を実施していないため、次の手続きにより調査を実施し費用を負担します。

- 1 天井加工等によりアスベスト調査が必要となる材料について発注者に報告してください。
- 2 調査対象について受注者は事前調査（書面・現地）を行ってください。
- 3 分析調査が必要と判断した場合は発注者に報告してください。
※アスベスト含有が事前調査により不明な場合のみ分析調査とします。
※事前協議なしの調査費用は受注者の負担とします。
- 4 事前調査及び分析調査に要する費用は変更にて増額します。
※調査により工事期間に追加が必要な場合は工期延長します。
- 5 調査により発生した廃棄物の運搬処理費用は変更にて増額します。

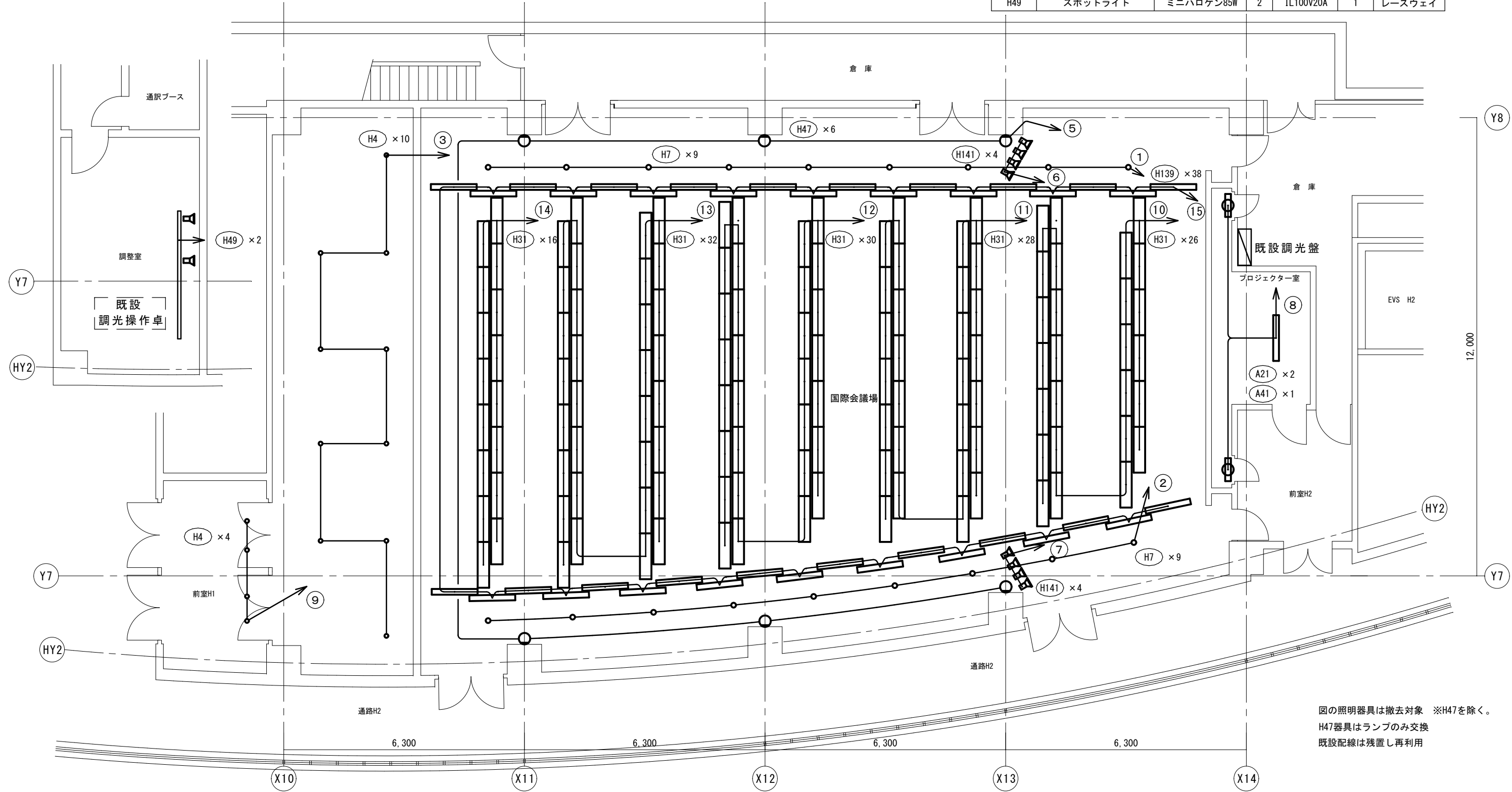
配置図



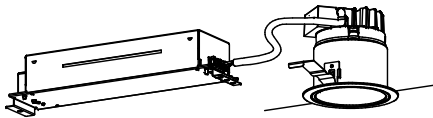
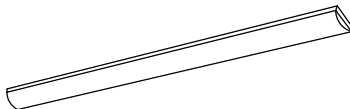
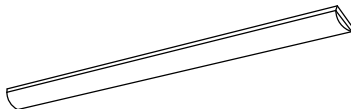
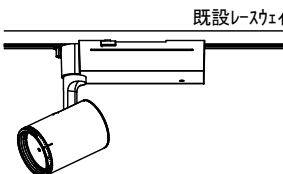
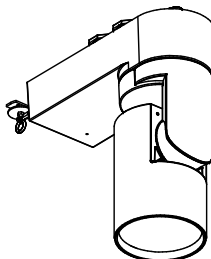
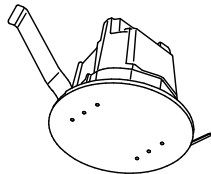
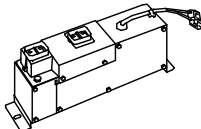
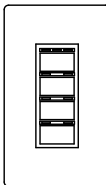
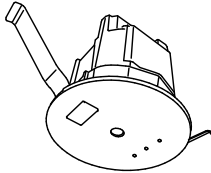
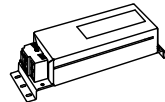
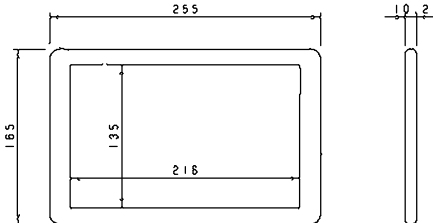
	年度	工事名		
	7	山口県国際総合センター国際会議場照明器具改修工事	配置図 (S=1/400)、付近見取図	10 — 3
	山口県国際総合センター	級建築士登録 第 号 印 設計変更 回		—



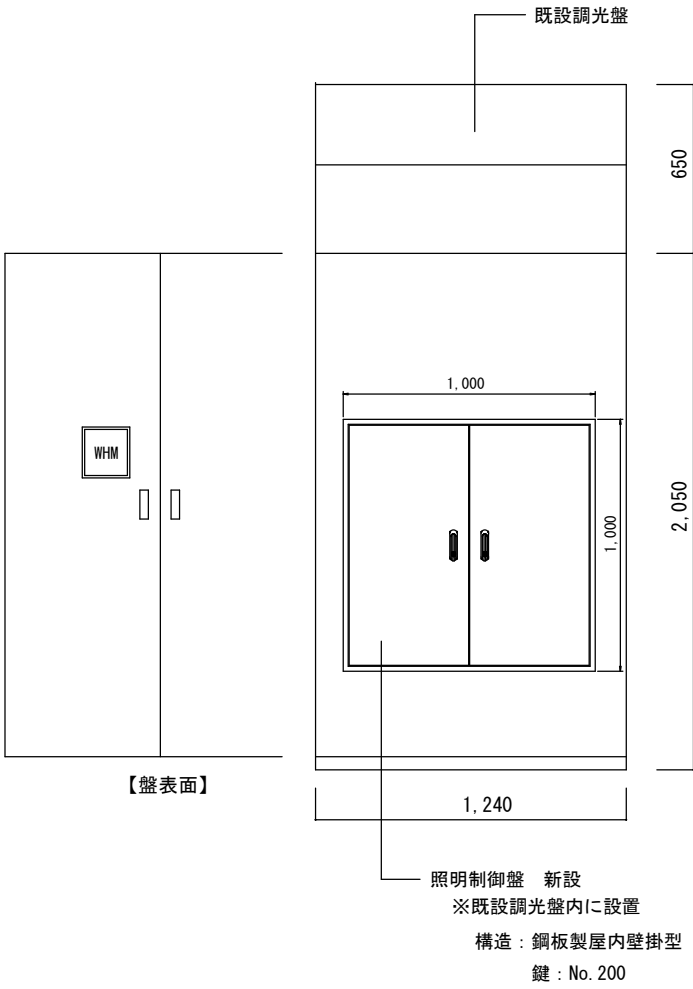
既設記号	器具種別	ランプ	数量	調光ユニット	回路数	備 考
H4	ダウンライト	ミニハロゲン85W	14	IL100V20A	2	100φ
H7	ダウンライト	ミニハロゲン85W	18	IL100V20A	2	125φ
H31	蛍光灯 (照明ボックス)	32W×2	132	FL200V20A	5	アルミルーバ
A21	蛍光灯	20W	2			
A41	蛍光灯	40W	1			
H139	蛍光灯 (コープ照明)	40W×1	38	FL200V20A	1	
H47	ブラケット	IL60W	6	IL100V20A	1	
H141	スポットライト	ミニハロゲン200W	8		2	
H49	スポットライト	ミニハロゲン85W	2	IL100V20A	1	レースウェイ



図の照明器具は撤去対象 ※H47を除く。
H47器具はランプのみ交換
既設配線は残置し再利用

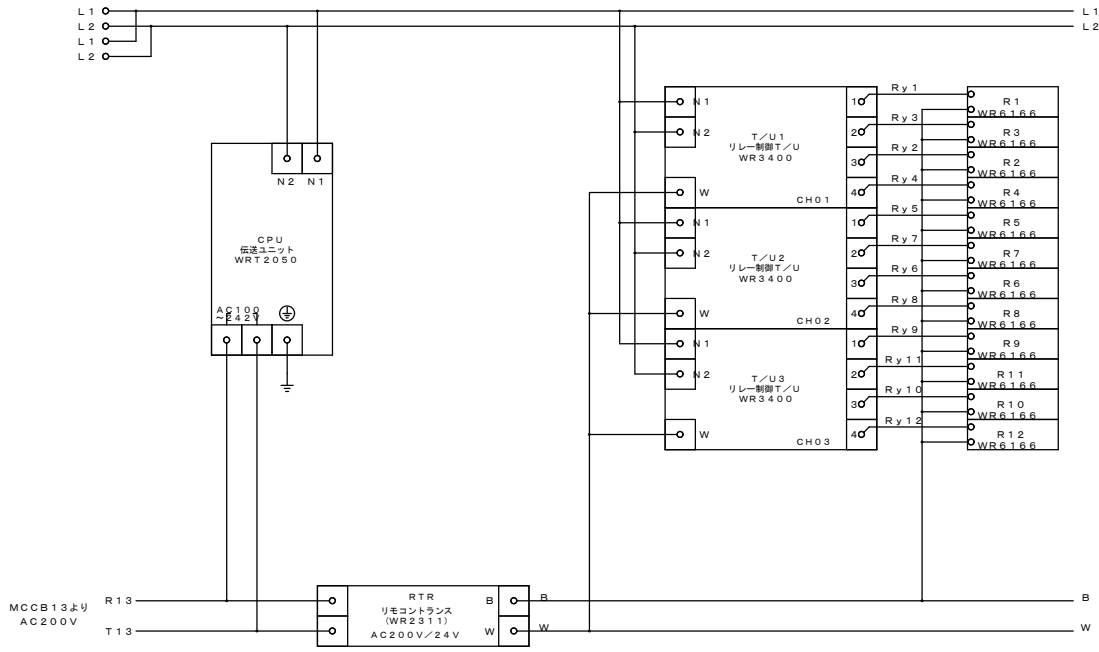
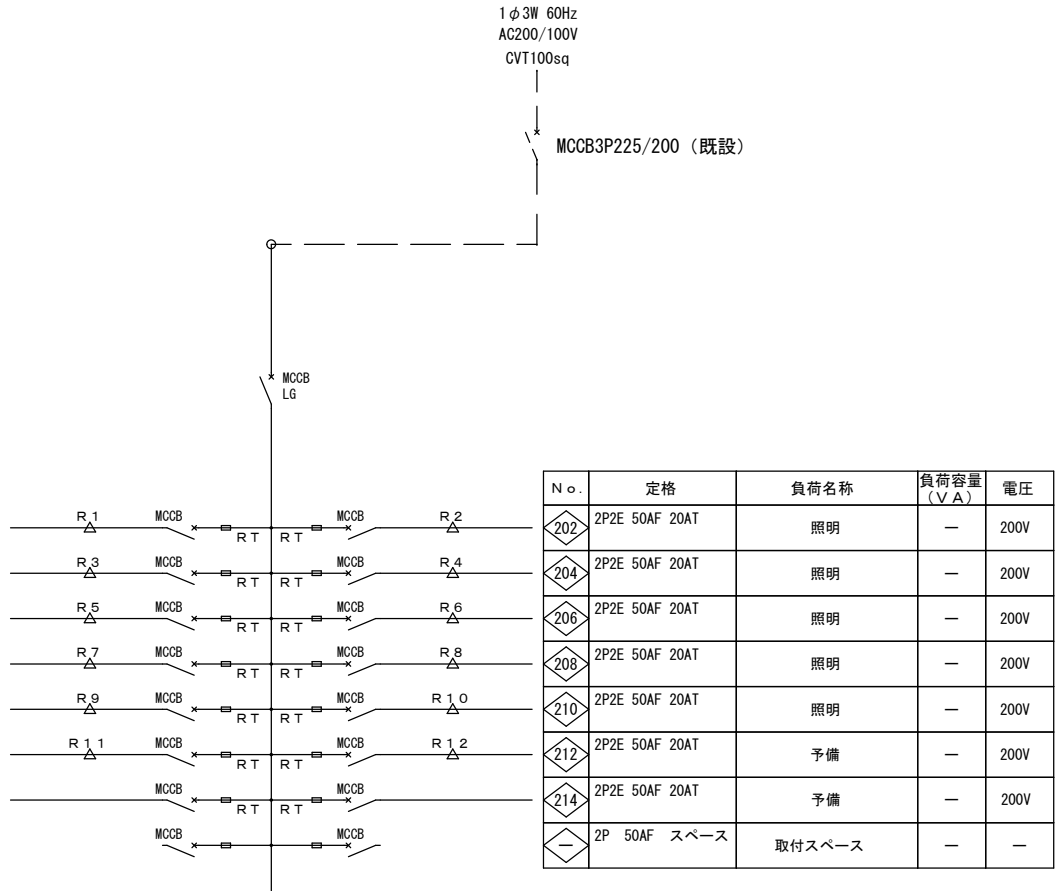
アレンジ調色ダウンライト２００形		WiLiA無線調光・アレンジ調色タイプ・3200 lmタイプ		WiLiA無線調光・アレンジ調色タイプ・6900 lmタイプ		BeAmFreeスポットライト１５０形	
H4（既設100φ）、H7（既設125φ）  NDN26490S RK9		H31（コープ照明）  NNLK41509J+NEL4300EX RK9		H139  NNLK41509J+NEL4600EX RK9		H49  NTS01516WRZ1	
LED内蔵、電源ユニット内蔵、アレンジ調色タイプ		LED内蔵・電源ユニット内蔵		LED内蔵・電源ユニット内蔵		LED内蔵、電源ユニット内蔵、P i P i t 調光・可変配光型、一般光色タイプ	
調光範囲（約１％～１００％）、光源遮光角３０度		光束維持時間40000時間（光束維持率85％）		光束維持時間40000時間（光束維持率85％）		光束維持時間：４０００時間（光束維持率７０％）、調光範囲（約５％～１００％）	
光束維持時間４０００時間（光束維持率７０％）		調色範囲：昼白色（5000K）～電球色（2700K）		調色範囲：昼白色（5000K）～電球色（2700K）		１００V配線ダクト取付型、首振角度約９０度、水平回転角度約３６０度	
約２７００K～約６５００K、Ra82～92、広角タイプ		器具本体 幅80・長1225		器具本体 幅80・長1225		４０００K、高演色Ra95、狭角～広角、配光調整機能付	
器具光束２０００lm、消費電力２１．０W、電圧１００～２４２V						器具光束：９１０lm、消費電力：１５．３W、電圧：１００V	
枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ１００						灯具：アルミダイカスト（ブラックつや消し仕上）	
【既設穴125φ】							
リニューアルプレート NNN80000Z							
シューティングスポットライト		マルチマネージャーEx		信号変換インターフェース・ON／OFF用		スイッチ子器（４ボタン）	
H141  NNQ39562W		 NQ51101Z		 NQL10131		 NK51042J	
		幅φ115・埋込穴φ100・埋込高134.7		定格電圧：AC１００V～２４２V		適合スイッチボックス：J I S １コ用	
		定格電圧：AC100V～242V				新金属プレート	
		インターフェース接続台数：NK51111・NK51113 最大8台					
		LS／無線信号変換インターフェース		WiLiA／PWM信号変換インターフェース		設定操作用タブレットEx	
照射配光範囲：狭角（１５°）～広角（２７°）：１／２ビーム角		 NK51113		 NK51115		 NQ51181F	
調光範囲0％、約１％～１００％							
照射方向範囲：水平方向±９０度／垂直方向±９０度							
３５００K、Ra92 配光調整機能付							
消費電力 ３１W（稼働時３６W）							
【国際会議場取付ベース】							
ショップライン本体（DH02511） １mN95白 × ２							
ショップラインフィードイン（DH02531）N95白 × ２							
ショップラインエンドキャップ（DH02532）N95白 × ２							
		定格電圧：AC１００V～２４２V		起動方式LJ・LZ用		ディスプレイ：10.1型	
		埋込穴φ１００、埋込高９９		定格電圧AC１００V～２４２V		OSバージョン：Android13以上	
						インストールアプリ：マルチマネージャーExタイプ	

					年度	7	工事名	山口県国際総合センター国際会議場照明器具改修工事	機器図	10	－	6
						山口県国際総合センター	級建築士登録 第 号	印	設計変更 回	－		



電圧	負荷容量 (V A)	負荷名称	定格	N o.
1 φ 3W 200/100V	12,980	電灯主幹	3P2E100AF100AT 中性線欠相保護付	LG

電圧	負荷容量 (V A)	負荷名称	定格	N o.
200V	—	照明	2P2E 50AF 20AT	201
200V	—	照明	2P2E 50AF 20AT	203
200V	—	照明	2P2E 50AF 20AT	205
200V	—	照明	2P2E 50AF 20AT	207
200V	—	照明	2P2E 50AF 20AT	209
200V	—	制御	2P2E 50AF 20AT	211
200V	—	盤内電源	2P2E 50AF 20AT	213
—	—	取付スペース	2P 50AF スペース	—



1 照明制御システム概要

国際会議場のLED灯について、照度・色温度を調整できる照明制御システムを本工事で構築する。
当該照明制御はタブレットを用いた視覚による直感的な操作を可能とし、国際会議場に設置するLED灯を個々に制御する。
なお、LED灯は既設の電源回路によるオンオフ制御を既存システムどおり行えるよう、本システムによる設定に配慮する。
タブレットと照明制御間の情報伝達は無線技術を活用し、悪意のある者による動作を許容しないようセキュリティを構築する。

2 制御内容

(1) 個別制御

照明器具1台ごとに出力（ルーメン数）、色温度を制御できること。

(2) グループ設定

任意の器具に関連付けを行え、グループごとに単体と同様の制御が行えること。

(3) 設定と記憶

単体又はグループで設定した照明制御の内容を記憶し、電源のオンオフや停電においても記憶内容を喪失しないこと。

(4) 設定データの保存

設定した内容は将来再利用できるよう、概ね12以上の領域を確保し保存できること。

(5) 設定変更時の動作

設定を変更した際は、連続的に変更設定後の状態に移行すること。

3 機器構成

(1) 操作用タブレット

ディスプレイサイズ 10.1インチ アスペクト比 16：9

OS：市場流通性のあるもの（バージョンは納入時の最新版とする）

タブレット本体 機器寿命に配慮して市場流通品を選定し更新性を高めること。

操作用アプリケーション 室平面図等による直感的操作を可能とした専用のアプリケーションをインストールすること

※アプリケーションのライセンスは製造者に帰属してよいが、将来のタブレット更新時は無償でインストールできること。

(2) 送受信機

室内においてタブレットとの通信が可能となる無線の電波強度・周波数帯・伝送速度を確保した電波を発する機器とすること。

電源 100V 60Hz 使用周辺温度 5～35℃ 機器本体は天井埋込形とする。

送受信機と照明制御器は有線による多重伝送により情報伝送が可能であること。

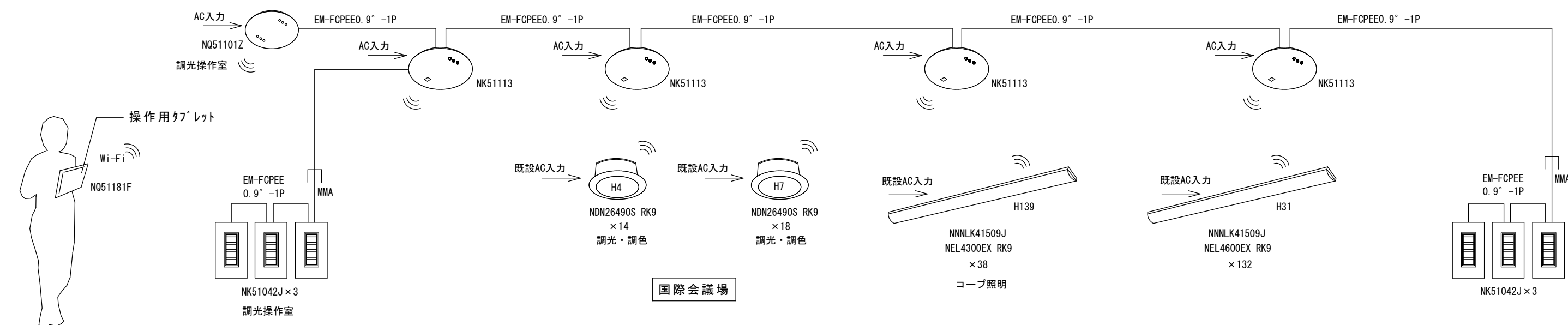
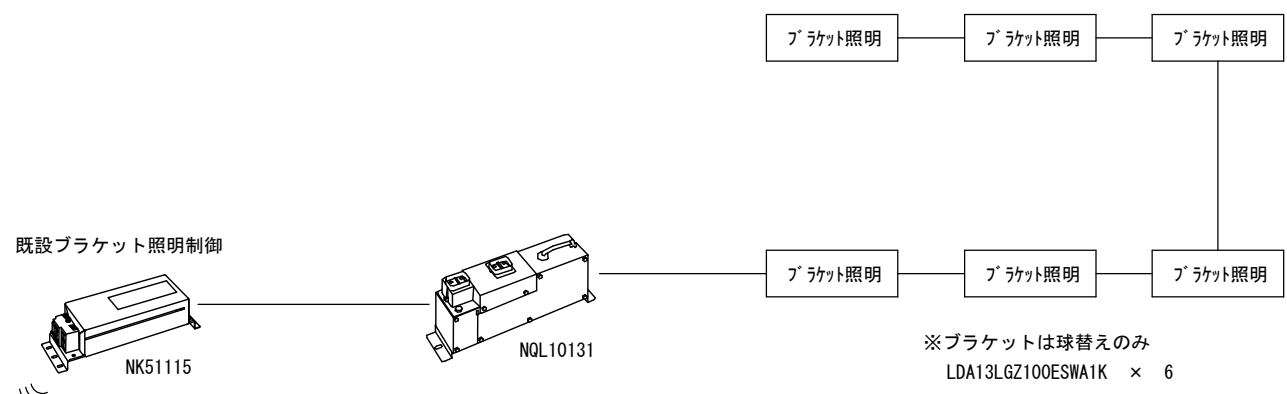
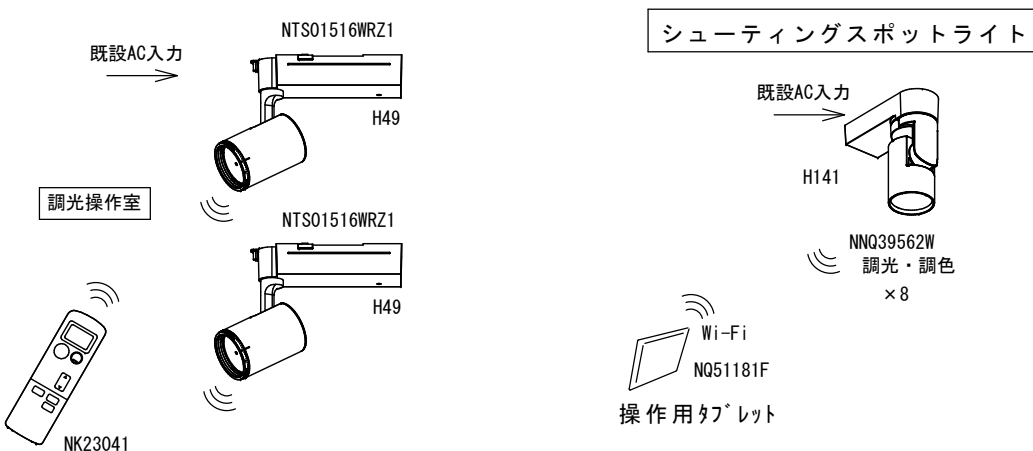
(3) 照明制御器

送受信機からの情報伝達を受けて、各照明器具に指令を出す装置であること。

電源 100V 60Hz 使用周辺温度 5～35℃ 機器本体は天井埋込形又は天井内設置露出形とする。

個別に制御できる台数はLEDランプ灯数が250灯以上であること。

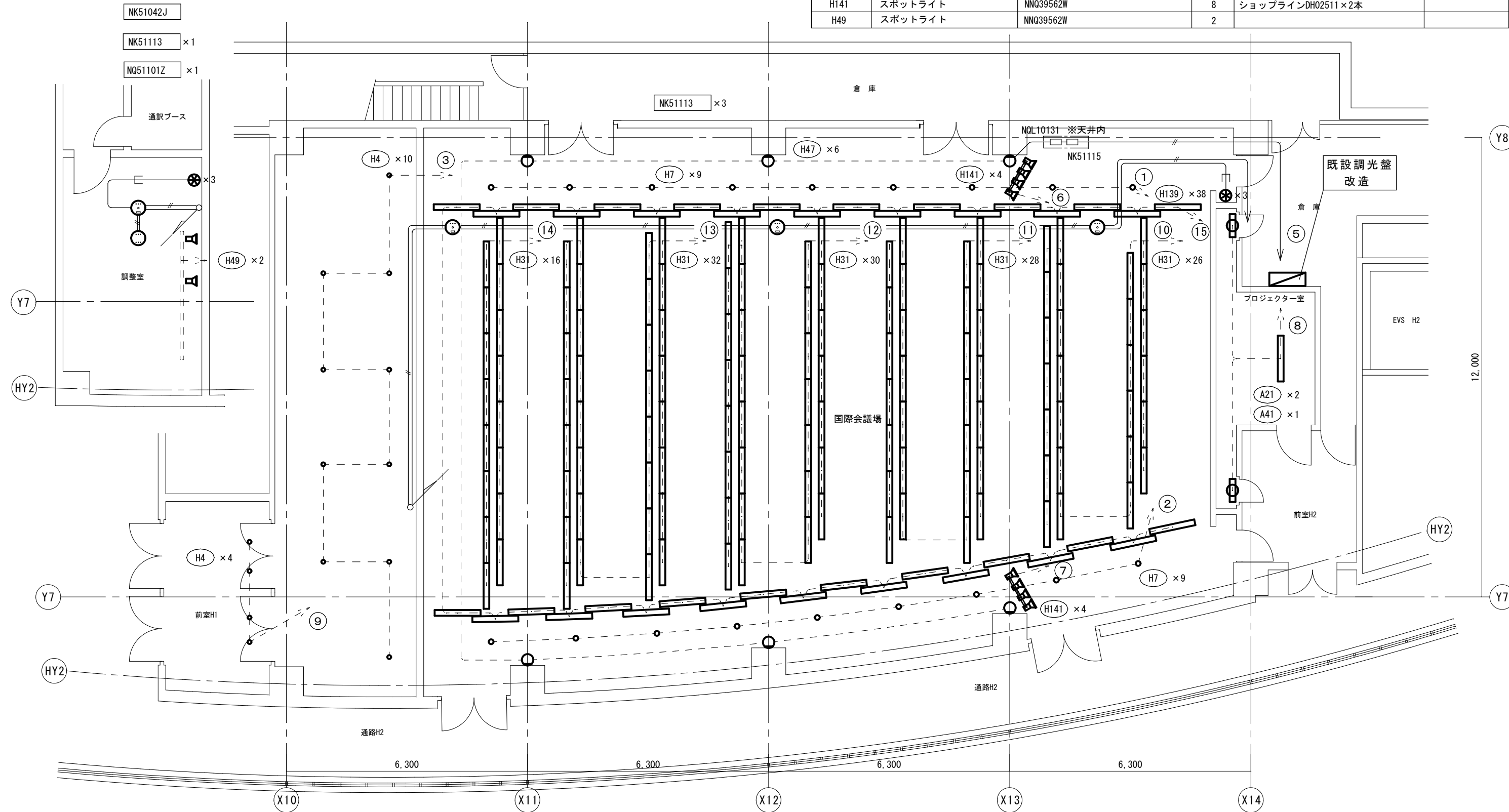
照明制御器と個別の照明器具は有線による多重伝送により情報伝送が可能であること。

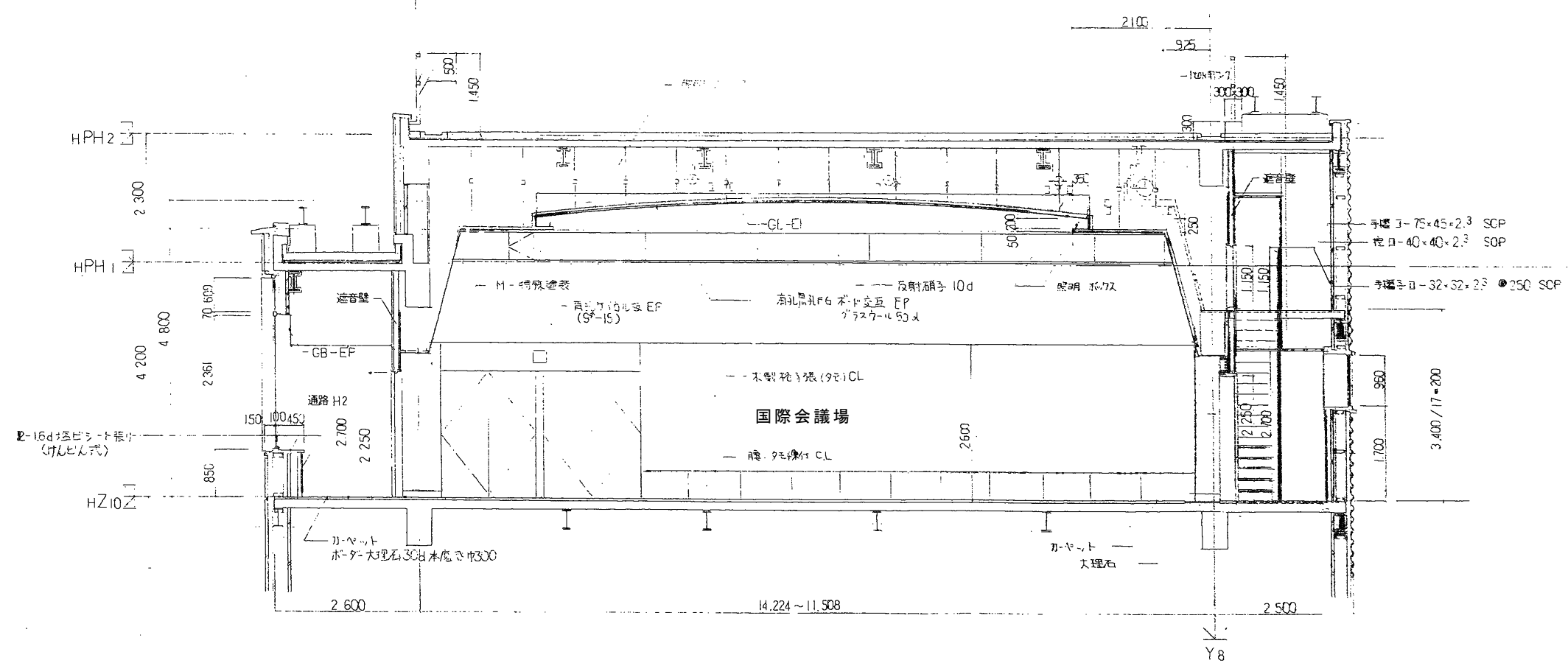
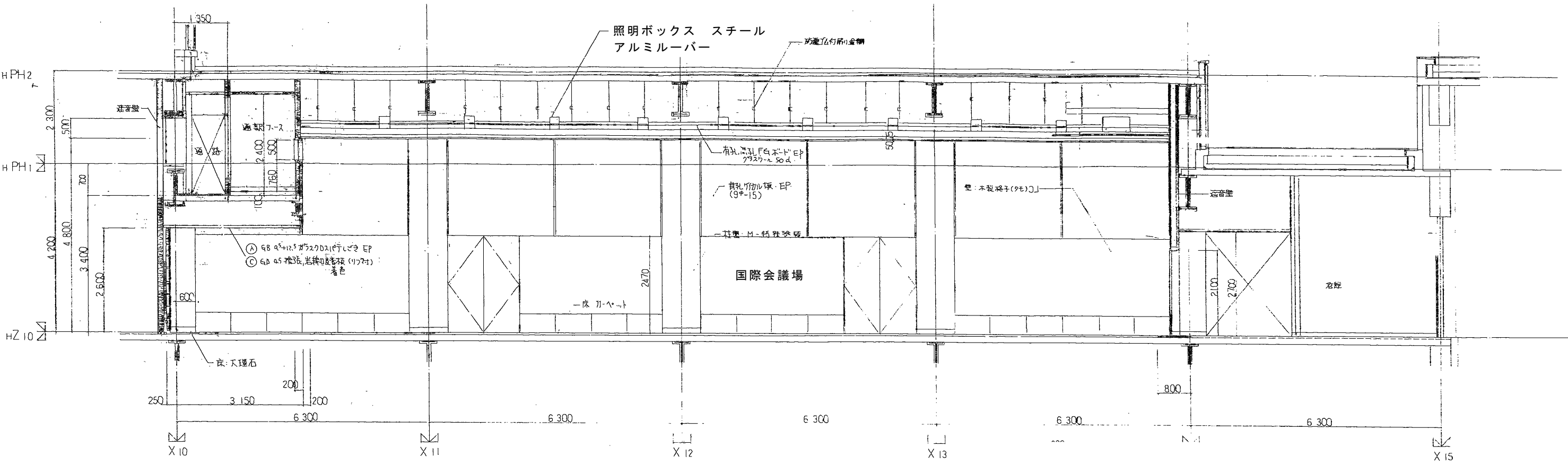


	年度	7	工事名	山口県国際総合センター国際会議場照明器具改修工事	システム系統図	10	—	8
	山口県国際総合センター		級建築士登録 第 号	印	設計変更 回			—

—#—	EM-EEF1.6-2C	コロカ [®] シ
—2.0#—	EM-EEF2.0-2C	コロカ [®] シ
—	EM-CPEE0.9-1P	コロカ [®] シ
—E—	EM-CPEE0.9-1P	メタルモルA型

記号	器具種別	型番	数量	備考	
H4	ダウンライト	NDN26490S RK9	14		
H7	ダウンライト	NDN26490S RK9	18	リニューアルプレートNNN80000Z	φ125対応
H31	ライトバー (照明ボックス)	NNLK41509J+NEL4600EX RK9	132		
A21	ライトバー	LSS1-2-15 LN	2		
A41	ライトバー	LSS9-4-48 LN	1		
H139	ライトバー (コープ照明)	NNLK41509J+NEL4300EX RK9	38		
H47	ブラケット	LDA13LGZ100ESWA1K	6	電球色 ランプ交換	
H141	スポットライト	NNQ39562W	8	ショップラインDH02511×2本	
H49	スポットライト	NNQ39562W	2		





	年度	7	工事名	山口県国際総合センター国際会議場照明器具改修工事	【参考】断面図 (S=1/100)	10 - 10
	山口県国際総合センター		級建築士登録 第 号	印 設計変更 回		

工事名称 山口県国際総合センター国際会議場照明器具改修工事

工事場所 下関市豊前田町 地内

工 期 令和7年 月 日～令和8年 3月31日まで
 (算定工期140日)

【工事概要】

国際会議場照明器具LED化に係る電気設備工事 一式

「執務並行改修工事＋完全週休2日（土日）Ⅱ型対象工事」

10月単価採用 算定に用いる工期4か月

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
電気設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等 (契約保証経費を含む)	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

高層棟		電灯設備		照明器具改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ケーブル		1	電改 式			別紙 00-0019
金属線び		1	電改 式			別紙 00-0022
照明器具H4	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ NDN26490S RK9 【ｶﾀﾛｸﾞ】	14.	電改 個			
照明器具H7	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ NDN26490S RK9 ﾘﾆｭｰｱﾙﾌﾞﾚｰﾄﾞ 【ｶﾀﾛｸﾞ】	18.	電改 個			
照明器具H31	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ NNLK41509J+NEL4600EX RK 9 ﾎｰﾊﾞｰ照明 【ｶﾀﾛｸﾞ】	132.	電改 個			
LED照明器具	LSS1 -2 -15 LN	2.	電改 個			
LED照明器具	LSS9 -4 -48 LN	1.	電改 個			
照明器具H139	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ NNLK41509J+NEL4300EX RK9 ｺｰﾌﾟ照明 【ｶﾀﾛｸﾞ】	38.	電改 個			
照明器具H47 (電球)	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ LDA13LGZ100ESWA1K 【ｶﾀﾛｸﾞ】	6.	電改 個			
照明器具H141	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ NNQ39562W 【ｶﾀﾛｸﾞ】	8.	電改 個			
照明器具H141 付属品	ｼｮｯﾌﾟﾗｲﾝ本体 DH02511 【ｶﾀﾛｸﾞ】	2.	電改 個			
照明器具H141 付属品	ｼｮｯﾌﾟﾗｲﾝﾌｨｰﾄﾞｲﾝ DH02531 【ｶﾀﾛｸﾞ】	2.	電改 個			
照明器具H141 付属品	ｼｮｯﾌﾟﾗｲﾝｴﾝﾄﾞｷｬﾌﾞ DH02532 【ｶﾀﾛｸﾞ】	2.	電改 個			
照明器具H49	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ NTS01516WRZ1 【ｶﾀﾛｸﾞ】	2.	電改 個			
PiPitﾊﾝﾃﾞｨﾗｲｺﾝ	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ NK23041 【ｶﾀﾛｸﾞ】	1.	電改 個			

電気設備工事 細目別内訳

高層棟		電灯設備		照明器具改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
レクタスイッチ	4ﾎﾞﾀﾝ NK51042J 【ｶﾀﾛｸﾞ】	6.	電改 個			
マルチメージｻEx	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ NQ51101Z 【ｶﾀﾛｸﾞ】	1.	電改 個			
LS/無線信号変換 インタフェイス	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ NK51113 【ｶﾀﾛｸﾞ】	4.	電改 個			
PWM変換インタフェイス	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ NK51115 【ｶﾀﾛｸﾞ】	1.	電改 個			
信号変換インタフェイス ON/OFF用	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ NQL10131 【ｶﾀﾛｸﾞ】	1.	電改 個			
操作用ﾌﾞﾚｯﾄ	ﾊﾞﾅｿﾆｯｸ NQ51181F 【ｶﾀﾛｸﾞ】	1.	電改 個			
照明制御盤	14回路 【見積】	1.	電改 面			
ｼﾌﾄ設定費	調光ｼｽﾃﾑ 【見積】	1	電改 式			
現場調整費	調光ｼｽﾃﾑ 【見積】	1	電改 式			
撤去		1	電改 式			別紙 00-0033
撤去品運搬費	普通用 2 t 積 賃料+労務	1.	電改 運転日			
撤去品処分費	廃ﾌﾞﾗ 300kg程度 2tﾄﾗｯｸ1車分計上	1	電改 式			
仮設足場		1	電改 式			別紙 00-0034
計						

高層棟		電灯設備		照明器具改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ケーブル		1	式			別紙 00-0019
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	1.6mm ² 2C ビット・天井	50.	m			
EM-FCPEEケーブル	0.9 mm ² 1P ビット・天井	50.	m			
計						
金属線び		1	式			別紙 00-0022
1種金属線び(MM1)	A型(25.4mm)	5.	m			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) コーナボックス	2.	個			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) 1個用スイッチボックス	6.	個			
計						

高層棟		電灯設備		照明器具改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
撤去		1	式			別紙 00-0033
照明器具撤去	H4	14.	個			
照明器具撤去	H7	18.	個			
照明器具撤去	H31 ルーバー撤去とも	132.	個			
照明器具撤去	A21	2.	個			
照明器具撤去	A41	1.	個			
照明器具撤去	H139	38.	個			
照明器具撤去	H47	2.	個			
照明器具撤去	H141	8.	個			
照明器具撤去	H49	2.	個			
調光盤撤去	【歩掛】	1	式			
計						

高層棟		電灯設備		照明器具改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
仮設足場		1	式			別紙 00-0034
内部仕上足場 (簡易型移動式足場)	掛払い手間 階高5.0m以上5.7m未満	20.	m ²			
内部仕上足場 (簡易型移動式足場)	供用1日賃料 修理費含む 階高5.0m以上5.7m未満	6.	日			
内部仕上足場 (簡易型移動式足場)	基本料 修理費含む 階高5.0m以上5.7m未満	20.	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	150.	m ²			
養生(内部改修)	個別改修	150.	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 簡易型移動式)	5.0m以上5.7m未満(3段)	20.	m ²			
仮設機械運転 (トラック)	普通用 2t積	2.	運転日			
計						